



2019年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年10月30日

上場会社名 内外トランスライン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9384 URL http://www.ntl-naigai.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 常多 晃
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 三根 英樹 (TEL) 06-6260-4800
 四半期報告書提出予定日 2019年11月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第3四半期の連結業績(2019年1月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第3四半期	17,006	△0.8	1,091	△0.6	1,120	1.0	781	6.2
2018年12月期第3四半期	17,144	6.5	1,098	2.9	1,109	0.0	735	△16.1

(注) 包括利益 2019年12月期第3四半期 499百万円(△21.2%) 2018年12月期第3四半期 634百万円(△31.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第3四半期	80.44	—
2018年12月期第3四半期	75.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第3四半期	11,726	8,980	70.7
2018年12月期	10,967	8,606	73.8

(参考) 自己資本 2019年12月期第3四半期 8,285百万円 2018年12月期 8,096百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	16.00	—	18.00	34.00
2019年12月期	—	17.00	—	—	—
2019年12月期(予想)	—	—	—	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日~2019年12月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,100	△0.7	1,620	0.2	1,670	0.8	1,210	5.5	124.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 1社(社名) 内外釜山物流センター株式会社、除外 1社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期3Q	10,698,000株	2018年12月期	10,698,000株
② 期末自己株式数	2019年12月期3Q	980,771株	2018年12月期	991,371株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期3Q	9,711,929株	2018年12月期3Q	9,701,860株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2019年1月1日～2019年9月30日)における世界経済は、米中貿易摩擦問題や英国のEU離脱問題など、景気が下振れするリスクを依然として含んで推移しており、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループ業績に大きな影響を及ぼすわが国の貿易に関しては、中国の経済成長の鈍化が一層鮮明となり、貿易統計が示すように年初より全ての月で前年割れとなるなど、輸出全体の減少に影響を与えています。

このような状況の下、当社グループは、当連結会計年度が最終年となります第3次中期経営計画(2017年1月～2019年12月)の基本方針に基づき、国際総合フレイトフォワードとしてさらなる成長を目指す取組みを強化してまいりました。重点的に取組んでおります通関業及び国外における倉庫事業においては順調に取扱いを拡大し、業績に寄与しております。

当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績につきましては、売上高、営業利益は対前年同四半期比でわずかに下回る結果となりましたが、為替差損の縮小や投資有価証券売却益が寄与し、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は対前年同四半期比増益となりました。

単体においては、取扱数量の減少により売上高は前年同四半期を下回りましたが、上半期より実施した価格改定による売単価の上昇により売上総利益が改善されたため、営業利益は対前年同四半期比で増益となりました。

また、海外グループ会社においては、米国やインド及び2019年4月に営業を開始した内外釜山物流センターの業績の寄与により、対前年同四半期比増収増益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は17,006百万円(前年同四半期比0.8%減)、営業利益は1,091百万円(同0.6%減)、経常利益は1,120百万円(同1.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は781百万円(同6.2%増)と、売上高及び営業利益において前年同四半期実績を下回りましたが、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は対前年同四半期比増益となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

① 日本

日本における国際貨物輸送事業につきましては、混載貨物輸出を主力としております。当第3四半期連結累計期間における売上高は、単体におきましては営業努力による売単価の上昇がありましたが、厳しい外部環境による取扱数量の減少分をカバーできず減収となりました。また、国内子会社におきましては、株式会社ユーシーアイエアフレイトジャパンは輸出航空貨物の回復が遅れ減収となり、フライングフィッシュ株式会社は日EU・EPA(経済連携協定)効果により欧州からの輸入食材やオリンピック関連の建材等の取扱いを増やし増収となりました。

この結果、売上高は11,271百万円と前年同四半期と比べ201百万円(1.8%減)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は696百万円と前年同四半期と比べ10百万円増加(1.5%増)し、減収増益となりました。

② 海外

当社グループはアジア地域及び米国に連結子会社11社を有しております。当第3四半期連結累計期間における海外売上高は、NTL-LOGISTICS(INDIA)PRIVATE LIMITEDやNTL NAIGAI TRANS LINE (USA) INC.及び2019年4月に営業を開始した内外釜山物流センターが売上高に寄与し、中国や東南アジア地域の売上高の減少を補うこととなりました。

この結果、売上高は5,734百万円と前年同四半期と比べ63百万円(1.1%増)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は販管費の節減により452百万円と前年同四半期と比べ20百万円増加(4.8%増)し、増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は11,726百万円(前連結会計年度末比758百万円増加)となりました。増加の主な理由は、現金及び預金の増加202百万円、内外釜山物流センターの取得等に伴う建物及び構築物の増加489百万円等によるものであります。

負債は2,745百万円(同384百万円増加)となりました。増加の主な理由は短期借入金の増加215百万円(内外釜山物流センターの既存借入金)、その他固定負債の増加174百万円等によるものであります。

また、純資産は8,980百万円(同374百万円増加)となりました。増加の主な理由は、利益剰余金の増加441百万円、非支配株主持分の増加184百万円及び為替換算調整勘定の減少261百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

米中貿易摩擦問題が長期化しており、第4四半期以降も主力の輸出混載貨物の回復が見込めないと判断し、2019年2月8日公表の2019年12月期の通期連結業績予想を修正しております。

なお今後の業績予想に関し、修正の必要が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,743,927	5,946,911
売掛金	1,691,461	1,556,395
その他	589,108	599,316
貸倒引当金	△3,785	△3,527
流動資産合計	8,020,710	8,099,096
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,512,189	2,002,025
その他(純額)	543,465	755,667
有形固定資産合計	2,055,654	2,757,692
無形固定資産		
のれん	86,965	91,014
その他	78,215	71,151
無形固定資産合計	165,181	162,166
投資その他の資産		
その他	1,035,956	1,002,893
貸倒引当金	△309,906	△295,805
投資その他の資産合計	726,049	707,088
固定資産合計	2,946,885	3,626,946
資産合計	10,967,596	11,726,043

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,105,542	1,078,392
短期借入金	—	215,520
未払法人税等	252,407	169,169
賞与引当金	18,486	141,636
その他	533,822	480,143
流動負債合計	1,910,258	2,084,861
固定負債		
退職給付に係る負債	298,613	333,292
その他	152,083	327,057
固定負債合計	450,696	660,349
負債合計	2,360,955	2,745,211
純資産の部		
株主資本		
資本金	243,937	243,937
資本剰余金	225,260	228,540
利益剰余金	8,546,872	8,988,140
自己株式	△1,010,833	△1,000,025
株主資本合計	8,005,237	8,460,593
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,763	1,354
為替換算調整勘定	86,875	△174,632
退職給付に係る調整累計額	△1,567	△1,526
その他の包括利益累計額合計	91,071	△174,804
非支配株主持分	510,332	695,043
純資産合計	8,606,641	8,980,831
負債純資産合計	10,967,596	11,726,043

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)
売上高	17,144,710	17,006,265
売上原価	12,536,579	12,309,326
売上総利益	4,608,130	4,696,938
販売費及び一般管理費	3,509,667	3,605,279
営業利益	1,098,462	1,091,659
営業外収益		
受取利息	29,721	36,321
不動産賃貸料	22,772	17,245
移転補償金	—	10,000
その他	10,909	21,933
営業外収益合計	63,403	85,499
営業外費用		
支払利息	—	4,159
不動産賃貸費用	3,581	3,204
為替差損	37,013	31,687
支払手数料	11,784	9,337
その他	279	8,495
営業外費用合計	52,657	56,884
経常利益	1,109,207	1,120,275
特別利益		
固定資産売却益	84	—
投資有価証券売却益	—	11,313
特別利益合計	84	11,313
特別損失		
固定資産除売却損	3,007	—
施設利用会員権売却損	485	—
施設利用会員権評価損	934	—
本社移転費用	12,482	—
特別損失合計	16,909	—
税金等調整前四半期純利益	1,092,382	1,131,588
法人税、住民税及び事業税	381,798	350,717
法人税等調整額	△56,759	△32,677
法人税等合計	325,038	318,040
四半期純利益	767,344	813,548
非支配株主に帰属する四半期純利益	31,449	32,367
親会社株主に帰属する四半期純利益	735,895	781,180

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	767,344	813,548
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,126	△4,409
為替換算調整勘定	△124,797	△309,313
退職給付に係る調整額	△20	43
その他の包括利益合計	△132,944	△313,679
四半期包括利益	634,399	499,868
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	613,510	515,304
非支配株主に係る四半期包括利益	20,888	△15,435

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	日 本	海 外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,473,556	5,671,153	17,144,710	—	17,144,710
セグメント間の内部売上高 又は振替高	256,421	571,927	828,348	△828,348	—
計	11,729,977	6,243,081	17,973,059	△828,348	17,144,710
セグメント利益	685,947	431,491	1,117,439	△18,976	1,098,462

(注) 1. セグメント利益の調整額△18,976千円には、のれん償却額△18,947千円及びその他調整額△28千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとののれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	日 本	海 外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,271,567	5,734,697	17,006,265	—	17,006,265
セグメント間の内部売上高 又は振替高	249,849	546,804	796,654	△796,654	—
計	11,521,417	6,281,502	17,802,920	△796,654	17,006,265
セグメント利益	696,184	452,131	1,148,316	△56,657	1,091,659

(注) 1. セグメント利益の調整額△56,657千円には、のれん償却額△21,684千円、子会社株式の取得関連費用△36,909千円及びその他調整額1,936千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとののれん等に関する情報

当第3四半期連結会計期間において、のれんの大きな変動はありません。